

## 横浜国際プールに係るサウンディング調査の実施について

### 1 趣旨

横浜国際プールは、供用開始から24年が経過し施設の老朽化が進む中、令和7年度には特定天井脱落対策工事が予定されています。また運営面では、令和3年度の外部監査において、施設の運用方法に関する意見がありました。

このような状況の中、今年度「横浜市財政ビジョン」が示され、今後の公共施設運営・改修にあたっては、市民ニーズはもとより、将来の人口・財政規模を見据え、ライフスタイルの変化やデジタル化・脱炭素化等の社会的ニーズをふまえた適正化が求められています。

これらを踏まえ、横浜国際プールの今後の利活用の方向性を検討するにあたり、条件整理を行うため、サウンディング調査を実施します。

#### 【※サウンディング調査について】

事業検討の初期段階で、公有資産の市場性や活用アイデアのほか、事業化の可能性等を民間事業者との対話で把握するものです。

### 2 施設概要

	施設概要
名称/所在地	横浜国際プール/都筑区北山田七丁目3-1
供用開始日	平成10年7月4日
敷地面積/延床面積	75,844.670㎡/35,876.940㎡
構造/階層	SRC造 地上3階 地下2階
施設内容	メインアリーナ (夏季：メインプール・ダイビングプール、冬季：スポーツフロア)、サブプール、サブアリーナ、多目的ホール、会議室、多目的コート、トレーニングルーム
運営	横浜市スポーツ協会・コナミスポーツ・トーリツグループ(指定管理)

### 3 検討の背景

#### (1) 施設更新の課題等

- ア 中央監視装置、プール設備、空調等が更新時期を迎えるなど、施設の老朽化に伴う長寿命化対策
- イ 脱炭素社会における施設全体の省エネルギー化等、効率的な施設維持管理の要請
- ウ 令和7年度の特定期間天井脱落対策工事による長期休館(約1年)

#### (2) 令和3年度包括外部監査での意見

「メインアリーナの夏季をプール、冬季をアリーナ(体育館)とする運営方法について、その転換作業に係る費用や期間の経済性の点から課題があり、通年プールか通年アリーナへの1本化を検討すべき。」

#### (3) 「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」をふまえた運営

『市民生活や経済活動を支える公共施設の機能・サービスを持続的なものとしていくためには、既存の施設を維持管理し続けるだけでなく、施設の規模や数量、質、保全更新コスト等を将来の人口や財政の規模に見合った水準に「適正化」していくことが不可欠な状況です』

### 4 サウンディング調査実施概要

#### (1) 実施理由等

- ア 横浜国際プールの今後の利活用の方向性について、民間事業者の創意工夫やノウハウを参考にしながら検討を進めるため、サウンディング調査によって広く意見を募集します。
- イ 改修に伴う休館による利用者への影響を最小限に抑えるため、令和7年度の特定期間天井脱落対策工事との同時改修等も視野に入れ、この時期にサウンディング調査を実施します。

#### (2) スケジュール

令和4年9月中旬～10月中旬 現地見学会及びサウンディング調査  
12月頃 結果概要公表

#### (3) 主な確認項目

将来ニーズを踏まえた施設内容、施設の魅力向上に向けた運営方法、施設の効率的な維持管理に関する提案、これらを受けた改修提案、想定している事業手法、収支計画 等